



大和市民活動センターは、2014年11月1日で10年目を迎えます。

2004年→2014年

この「**10年の歩み**」を毎月「あの手この手」に折り込んでお届けします。

〈 その2 〉

発行・大和市民活動センター「10年の歩み」 第2号 2014年5月1日発行

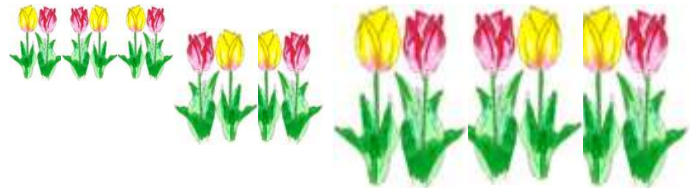
団体同士が手を取り合って

大和映像サロン 会長 長谷川 修

大和市民活動センター登録団体より

～ アマチュア映像愛好家グループ 大和映像サロン ～

大和市民活動センター開設10周年おめでとうございます。私共のクラブは1968年（昭和43年）創立、映像制作を趣味とする者の集まりです。8ミリフィルム映像から始まり、ビデオテープを経て現在はハイビジョン映像を楽しんでいます。会員は23名（内地方会員3名）、女性会員は4名です。毎月第2土曜日に勉強会、第4土曜日に月例会を市民活動センター（以下センター）で行っております。



このほか会員相互の親睦を図る撮影旅行や、友好クラブの上映会参加、コンテストへの応募などを行っております。お陰様で当クラブから毎年のようにコンテスト入賞者が出ております。

昨今はビデオカメラもハイビジョンカメラが主流となり価格もどんどん安くなっており手軽に楽しめるようになりました。幼稚園や小学校の運動会をのぞいて見ますとたくさんのご父兄がビデオカメラを構え可愛いお子さんの姿を撮っておられます。しかしその映像を編集したり、タイトルをつけたりして保存される方はほとんど居りません。私たちも最初の動機はホームムービーから始められた方がほとんどです。



センターは2007年11月の例会から使わせて頂いております。これまでは生涯学習センターで例会を行ってまいりました。私どもの会員は高齢の方が多く、駅から近いセンターは大変便利です。主な行事として毎年秋に「映像まつり」と称して会員制作のビデオ映像を一般公開でご覧頂く映写会を生涯学習センターホールで開催しております。昨年は20本の作品を上映、台風襲来と言う悪天候ながら300名を越す方々に鑑賞して頂きました。



センターを使わせて頂くようになり、他の団体との交流も盛んになり、撮影とDVD制作や上映会のお手伝いなどをさせて頂いております。例えば演劇やまと塾さんの公演、大和商工会議所20周年記念行事、湘南軽音楽フェスティバル、ファッションショーの撮影、「じんじん」上映会の支援、オカリナ演奏会の撮影と上映、地域コーラス発表会の記録等々私たちがお役に立てるのであればお手伝いさせて頂いております。（これは会が窓口になっておりますが、会員有志の個人的活動で、会としての活動ではありません。）



編集機器も改良され、お年寄りでも容易に扱えるようになっております。どうぞビデオカメラをお持ちの方は一度当クラブへお越しください。映像作りの魅力をご一緒に味わいませんか。（事務局長 土屋翁三）

お問い合わせは下記事務局までお気軽にどうぞ。

大和映像サロン事務局

大和市深見東1-1-12 土屋翁三方

☎ 090-8775-6623 ☎ 046-263-6623

メール: tsuchiyaozo@sannet.ne.jp

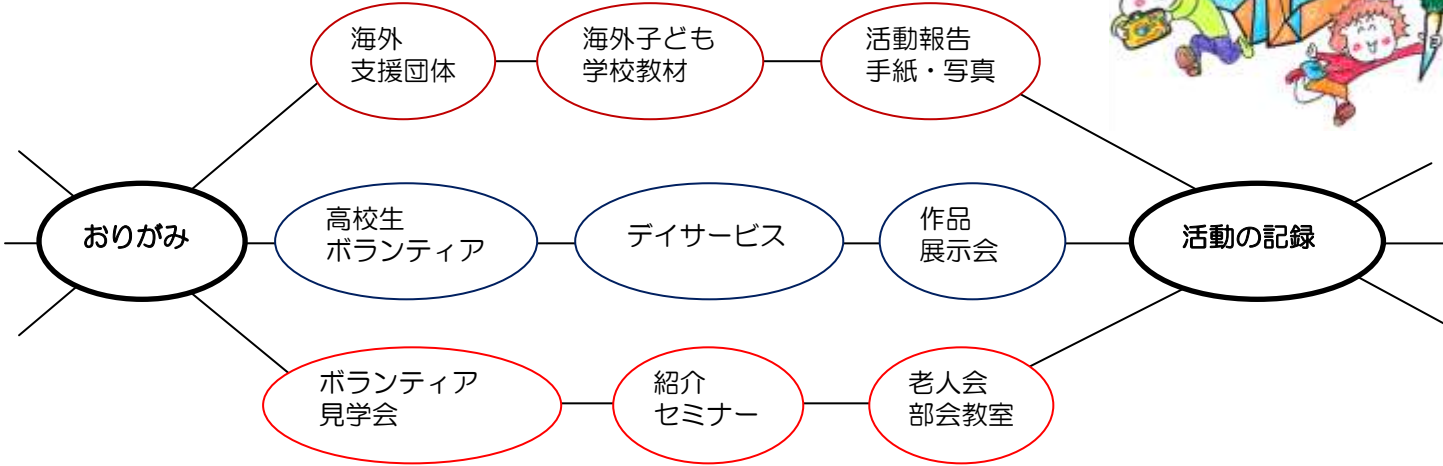
<mailto:tsuchiyaozo@sannet.ne.jp>




FM やまと～やまとっこ☆みつけた～
第175回 2013年1月29日(火)9:00～
当日の1時間生放送に参加されています。
また楽しいお話をお聞かせ下さい。

活動と活動が手をつないだら…
 それぞれのネットワークが有機的にひろがったら…
 ～ きっと何かが生まれる 私たちの拠点 大和市民活動センター ～

市民活動センターは「人と人との出会いの場」です。毎月のように、活動団体同士が手を組んで活動の輪が広がっています。



 「おりがみサークル」の作品は海外でも人気です。「チームピースチャレンジャー」や「いきいきフォーラム草の根支援」が発展途上国に持って行って紹介しました。現地からは写真や手紙のお礼が届きました。デイサービスでボランティア活動をする高校生たちが、センターに寄って「おりがみ」を習い、活動現場で活かしています。

市民活動課主催の「ボランティアバス見学会」に参加した女性が、「おりがみ」を習って帰りました。後日、地元婦人部で手芸セミナーがあり、「私ね、先日教わったおりがみ、みんなに教えてあげたわよ！ありがとね！」と、にっこり報告してくれました。



大和市民活動センター登録団体 活動内容

各地の市民活動センターでも 福祉・環境・食生活・子どもの健全育成や生涯学習関連分野の登録団体数は多いようです。大和市の特長は国際協力・外国人支援やまちづくり

自治会登録も多く見られます。反面、スポーツや文化芸術など施設・設備を利用されるグループ団体数は他センターと比べると割合的に少ない傾向です。

